



森と生きる。

林業に携わる全ての方に安全を。

— Forestry Safety News —



Vol. 11

目次
INDEX

野生生物被害に注意!

野生生物被害に注意!



クマ編

クマの生態を知り、正しく恐れることで遭遇を防ぐ第一歩にしましょう。

令和7年度(4月~1月)クマ類による人身被害【速報値】上位5件

	①秋田県	②岩手県	③福島県	④新潟県	⑤長野県	総被害数
被害人数	67	38	24	17	16	236
前年度被害者数	11	10	6	7	13	85

1月時点で前年度の
2倍以上の被害に
なっていたのですね…。



以下参考:環境省「クマ類出没対応マニュアルー改訂版ー」
(<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>)を加工して作成

参考:環境省「クマによる人身被害件数(速報値)令和8年2月9日更新版」(<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/injury-qe.pdf>)を加工して作成

クマ被害が増加している要因(一部抜粋)

田畑・民家

耕作放棄地、放任果樹の増加



① 隠れ家増加による
民家付近での遭遇



② エサの増加

里山や農林業従事者の人口減少、高齢化



森林内

林内作業者の減少



① クマの警戒心が低下 ② 大径木の増加、植生の変化



里山がクマの生活しやすい環境に
変化していることが、出没増加の一要因に!!



ブナ・ミズナラなどの種子はクマのエサとなり
大径木ほど生産量は増加するといわれています。

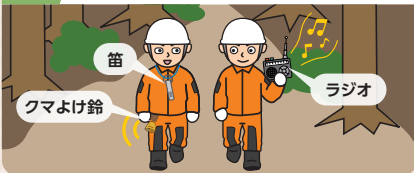
クマへの対策

クマは学習能力の高い生き物です。これらで確実に
対策できるとは限りませんが備えておくことは大切です。

測量作業員のクマ被害も発生
しています。どのような作業
でも対策をし、備えましょう。



1 単独行動しない、音の出るものを携帯

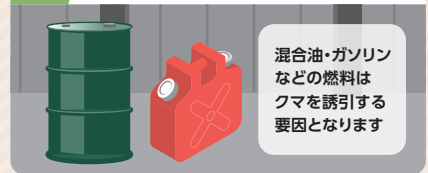


2 クマ撃退スプレーを携帯



練習用スプレーも販売されているため、
万が一に備え練習しておく
良いでしょう ※注1

3 燃料の保管場所や給油時は注意



混合油・ガソリン
などの燃料は
クマを誘引する
要因となります

4 弁当など食品管理の徹底



5 大声を出し安全確認



岩陰など見通しの
悪い場所では
手前で立ち止まり
大声を出して
安全確認

6 巣穴の可能性のある場所に不用意に近づかない



■環境省作成マニュアル
「クマ類の出没対応マニュアルー改訂版ー」
より詳細なデータや遭遇時の行動などが記載されています。
社内で共有し、万が一の状況に備えましょう。
<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>



※注1 クマ撃退スプレーは、有効成分、
濃度、噴射距離、時間など性能差が
あるので確認して選んでください。
なお、製品の性能は EPA(米国環境
保護庁)に登録されたものが参考と
なります。



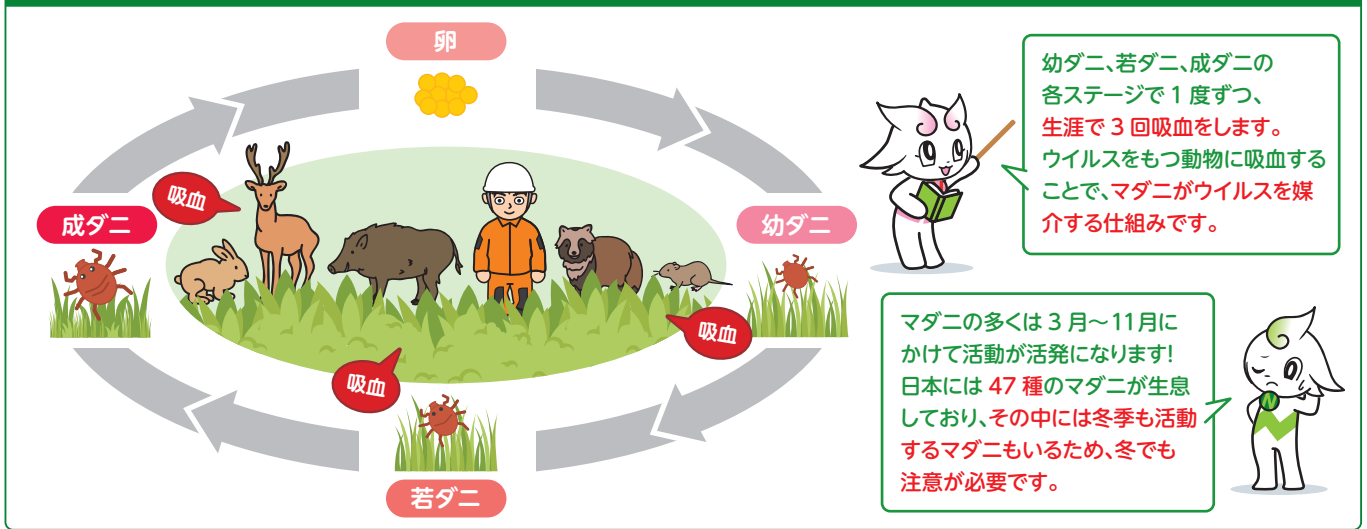
クマの糞や樹皮剥ぎ
などはクマが出没して
いたサインでもあるため
注意しましょう。



ダニ編

マダニが媒介する感染症には、時として死亡する可能性のある感染症も含まれています(重症熱性血小板減少症候群など)。特に林業現場である森林は、マダニの住処となっています。どのような対策・刺咬措置を行うべきか、知識をつけましょう。

マダニの生活環



参考:「マダニ対策、今できること」(国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト) (<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.html>) を加工して作成

マダニから身を守る

参考:林野庁「森林内等の作業におけるダニ刺咬予防対策」(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/anzen/daniyouboutaisaku.html>) を加工して作成

1

持ち込まない!



2

近づけない!



3

油断しない!



マダニに刺咬された場合の措置

- 無理に引き抜かず、医療機関で処置を受けましょう。
- 処置後は医師の指示に従い、**体調の変化に注意**しながら生活しましょう。ウイルスの潜伏期間は異なるため、油断は禁物です。
- 感染症の初期症状(頭痛、発熱など)と思われる症状が現れた場合、医療機関で処置を受けましょう。

命にかかわる問題です。自分で対処しようとするのではなく、**迅速に医療機関で処置することが重要です。**



■林野庁「森林内等の作業におけるダニ刺咬予防対策」

各省庁から、マダニに関する情報が出ています。自分は大丈夫!とは思わず、明日は我が身と思い正しい知識をつけ対策をしましょう。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/anzen/daniyouboutaisaku.html>



編集後記

森生を発行して11月号となりました。当時はこのように継続できると考えてもいなかったため、感慨深いものがあります。これからも林業現場のみなさんのためになる記事を制作してまいりますので、引き続きご覧いただけますと幸いです!(レンタルのニッケン 関東支社コントロールチーム 育林)

レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン

検索



森生(シンセイ)のご活用についてお願い

弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、森生(シンセイ)の製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

- 森生(シンセイ)の一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ず、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複写・複製・賃貸・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

P

編集・発行/2026年3月

株式会社レンタルのニッケン
林業安全向上委員会

お問い合わせ/

株式会社レンタルのニッケン
林業安全向上委員会 宛
Mail: sinsei@ml.rental.co.jp

森生(シンセイ)で取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください。

nikken@rental.co.jp